



自分の言葉でつたえる 仲間とつながる ねばり強くつづける

『大地に根ざし  
未来を拓く  
人間の育成』

「進んで考え、伝え合う子」  
「やさしい心で、支え合う子」  
「心も体も、元気な子」

## 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要と今後の取組について

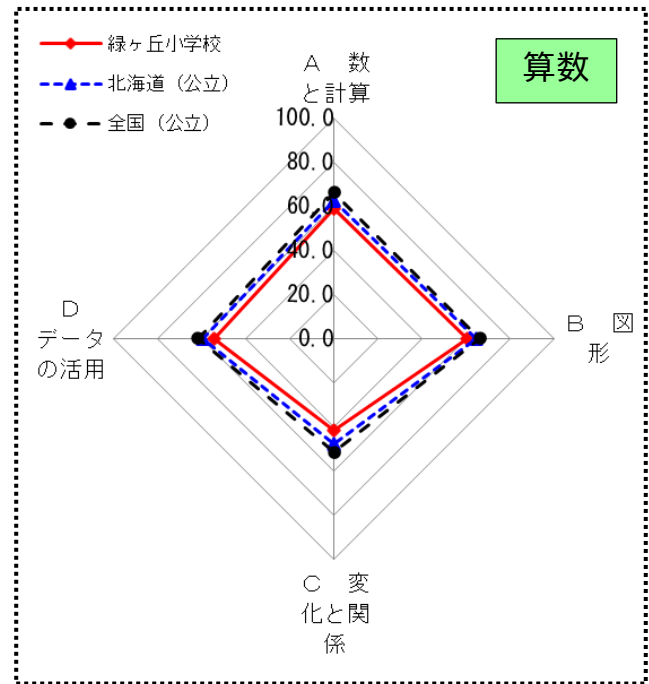
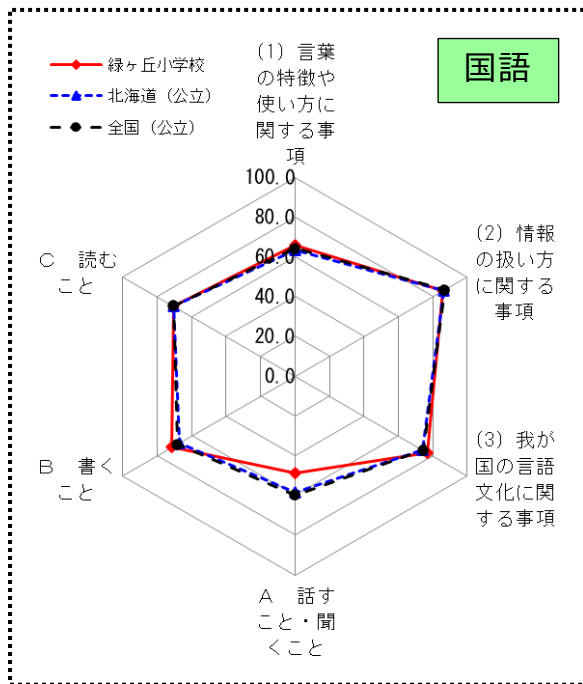
日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご支援をいただきまして感謝申し上げます。

さて、6年生を対象とした「令和6年度全国学力・学習状況調査」が4月18日(木)に実施されました。この調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題を検証して今後の学習指導の充実や改善等に役立てることを目的としております。以下に本校の児童の傾向と概要を示します。なお、今回の調査結果は、学力全体を特定するものではなく、学校における教育活動の一側面であることを申し添えます。

### ①本校の平均(全国・道との比較)

	国語	算数
本校平均 (全道・全国との比較)	全道平均よりやや低い 全国平均よりやや低い	全道平均より低い 全国平均より低い
全道平均	67%	61%
全国平均	67.7%	63.4%

### ②学習指導要領の内容の平均正答率



### 成果（正答率の高かった問題）

#### 【国語】

○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題(思考・判断・表現)の正答率は概ねよい結果となりました。

○人物像を具体的に想像することができるかどうかをみる問題(思考・判断・表現)の正答率は概ねよい結果となりました。

#### 【算数】

○直方体の見取り図について理解し、かくことができるかどうかをみる問題(知識・技能)の正答率は概ねよい結果となりました。

## 課題（正答率が低かった問題）

### 国語 話すこと・聞くことに関する事項に 課題が見られました

右のようなオンラインで交流する際に資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する設問の正答率が低い傾向が見られました。

《正答例》

2 相手が興味をもっていることに気づき、用意していた実物を示しながら話した。

《今後の指導や改善策》

- ・実際に交流する場面では、聞き手のうなずきや表情などの反応にも目を向けさせるなど相手意識をもたせます。
- ・音声だけでは理解しにくかったりする場合はどのような資料を用意すればよいか考える場面を設定します。
- ・自分の考えを伝える際には目的や意図に応じて資料の順番を変えたり、提示方法を検討したりする場面を設けます。



⑥ よく分かりました。おもしろそうですね。

⑦

そうなんです。先月の読書イベントでは、図書委員がさまざまな分野から本を選び、本の内容からクイズを出題してくれました。これが、実際に出題されたクイズが書かれたカードです。私も参加することで、科学の本に興味をもつことができました。

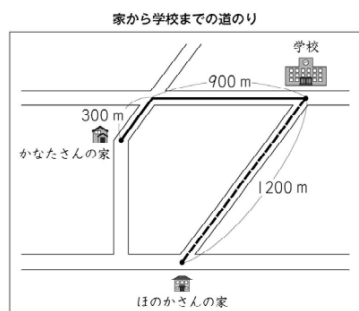


- 1 相手が興味をもっていることに気づき、相手の言葉を引用して話した。
- ② 相手が興味をもっていることに気づき、用意していた実物を示しながら話した。
- 3 相手が興味をもっていないことに気づき、言葉の意味を説明しながら話した。
- 4 相手が興味をもっていないことに気づき、自分の体験を加えて話した。

(2) 和田さんは、村木さんの発言⑥を受けて、発言⑦のように話しました。和田さんの話し方のくふうとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

### 算数 変化と関係領域に関して課題が見られました

(3) かなたさんとほのかさんは、それぞれの家から学校まで歩いて行きました。



家から学校までの道のりは、上の図のとおりです。

家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分間かかりました。

それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。

下の1と2から選んで、その番号を書きましよう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましよう。

- 1 かなたさん
- 2 ほのかさん

・道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題（思考・判断・表現）の正答率が低い傾向が見られました。

《正答例》

1 かなたさん

①かなたさんの家から学校までの道のりは、 $900 + 300 = 1200$ で、 $1200\text{m}$ です。かなたさんとほのかさんが歩いた道のりは、 $1200\text{m}$ と同じです。かかった時間は、かなたさんのほうが短いです。道のりが同じとき、時間が短いほど速さが速いので、かなたさんのほうが速いです。

②かなたさんの家から学校までの道のりは、 $900 + 300 = 1200$ で、 $1200\text{m}$ です。だから、かなたさんの歩く速さは、 $1200 \div 20 = 60$ で、分速  $60\text{m}$ です。ほのかさんの歩く速さは、 $1200 \div 24 = 50$ で、分速  $50\text{m}$ です。だから、かなたさんのほうが速いです。

《今後の指導や改善策》

- ・異なる二つの量の割合を捉える際に、目的に応じた比較方法（考え方）を記述させ、それをもとに交流する（対話）学習を行っていきます。
- ・身近な題材をもとにした課題設定を行うなど、割合や数量の関係を日常生活に生かすための手立てを充実させていきます。

## 児童質問紙

### <肯定的な回答の割合が高かった項目>

◎「朝食を毎日食べていますか」や「あなたの家にはおよそどれくらいの本がありますか」との設問で全国平均よりも高い傾向が見られました。

◎「将来の夢や目標をもっていますか」や「地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思いますか」の設問に対し、「当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均よりも高い傾向が見られました。

◎「国語や理科の勉強が好きですか」や「授業でPCやタブレットなどのICT機器を積極的に使っている」と回答した児童の割合が全国平均よりも高い傾向が見られました。

### <回答に課題が見られた項目>

▲「一日あたりどれくらい時間テレビゲーム・携帯・スマホをしていますか」の時間が全国平均よりも多い傾向にありました。

▲「学校の学習時間以外にどれくらい時間勉強していますか」の時間が全国平均よりも短い傾向にありました。⇒**ゲームやスマホの時間が長く、家庭学習の時間が短い傾向**

今後子どもたち一人ひとりが主体的な学習者となるような授業づくり、学習への理解の度合いやつまづきを適切に把握した個に応じた指導の充実に向けていきます。ご家庭でも、家庭学習や読書等において集中して取り組める環境づくりへのご協力をよろしくお願いいたします。